

川崎平右衛門 フェスタ 2023

in 西東京市

12.10(日)

参加費 13:00~16:30
無料 (12:30 開場)

コール田無多目的ホール

西武新宿線田無駅 北口 7分

— 川崎平右衛門 —

平右衛門は、今から300年程前の江戸時代中頃、武蔵国押立村（現在の府中市押立町）で生まれ、地元府中周辺の多摩川大洪水の後の治水工事や六所宮（大國魂神社）の随神門の造営などに尽力するとともに、多摩地域の発展の礎となった武蔵野新田の安定化や新田村々の救済・復興の立役者となりました。西東京市エリアでは、上保谷新田、下保谷新田、田無新田を拓きました。

徳川八代将軍「吉宗」が主導した享保の改革で開発された武蔵野新田が、凶作などで危機に陥ると、平右衛門は、元文三（1738）年の武蔵野新田の大凶作の際には、大岡越前守の要請を受けて、農民救済に取り組みます。

また、飢饉で苦しんでいた人々を救うために、平右衛門は、どんな作物がたくさんできるかを見つけるために、いろいろなものを植えさせました。その結果、ソバ、粟、ハトムギなどが良いことがわかり、武蔵野新田の人々は、飢饉から救われたのです。

農民自身が自立出来るよう、村民全体の協同作業による村づくりを進言し、大人も子供も老人も一丸となった村づくりの喜びを実感させながら、支配型の管理から「養い料金」制度と呼ばれる自立した協同管理の仕組みへと転換させ、村々に新しいリーダーの育成を図った人物です。

【主催】 川崎平右衛門顕彰会 【共催】 川崎平右衛門研究会 一般社団法人日本社会連帯機構 社連TOKYO
【後援】 西東京市 西東京市教育委員会 小金井市教育委員会 日本労働者協同組合（ワーカーズコープ）連合会 NPO 現代座